

# 桜江町商工会通信

101 平成31年1月

桜江町商工会 TEL 92-1331 FAX 92-1338

Eメール sakura-s@tx.miracle.ne.jp

ホームページ <http://sakurae.shoko-shimane.or.jp/>



## 新年を迎えて年頭のご挨拶

桜江町商工会  
会長 森下勝義

平成最後の年頭にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

会員の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年中は「桜江町商工会」の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成30年度の我が国経済は、緩やかな回復が続いており、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により経済の好循環は着実に回りつつあると茂木経済財政政策担当大臣談話として発表されました。しかしながら小規模事業者への波及効果は未だ見えてこないのが現状ですが、新たな年号に代わる今年こそ、更なる景気回復を期待したいものです。

昨年の世界での出来事としては、4月に行われた南北首脳会談で「朝鮮半島の非核化」を目指すことで合意し、その後6月には史上初の米朝首脳会談がシンガポールで開催され、金正恩氏が「完全非核化」に取り組み、トランプ氏が体制の「安全の保証」を約束する共同声明に署名しました。日本にとっても朝鮮半島の動向は今後も注視しなければならない問題です。

国内では、自然災害の年と言っても過言ではありませんでした。9月に発生した大型台風、北海道の胆振地方を震源としたマグニチュード6.5の地震もありましたが、中でも7月5日から数日間、西日本の各地を記録的な豪雨が襲いました。死者は220人を超え、豪雨災害としては、平成最悪の人的被害でした。桜江町では人的被害はなかったものの、江の川沿いの川越地区や八戸川沿いの小田地区において甚大な被害が発生し、生活や事業活動に多大な影響を及ぼしました。しかしながら、災害により廃業を余儀なくされた会員がいなかったことが幸いです。

商工会では災害直後から「災害相談窓口」の設置、ヒアリングによる情報収集等を行い、被災会員に向けての支援体制を強化する一方、いち早く江津市へ、被災した商工業者の一刻も早い復旧・復興支援をお願いする要望書を提出したところです。まだまだ予断を許さない環境下ではありますが、当商工会では会員の皆様の立場に立った災害支援はもとより、伴走型小規模事業支援も引き続き継続していく所存であります。被災された皆様並びに関係する皆様に改めてお見舞いを申し上げます。

終わりに、本商工会は財政基盤の確立を図るとともに、会員の皆様から信頼される組織づくりを進めてまいります。その為にも商工会活動理念であります「すべては会員のために」を念頭に、役職員が一丸となって努力致す所存であります。会員の皆様にはより一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様方の御健勝と御多幸を心より祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

